

野菜の消費拡大活動の推進について

平成 21 年 7 月 21 日

野菜需給協議会

- 1 最近の夏野菜の卸売価格は、各産地の順調な生育により、豊作傾向で生産過剰となっている一方、需要が伸びていないことから、全体的に平均価格を下回っております。
- 2 産地側では、自主的な出荷調整等の努力を行っていますが、はくさいなど、品目によっては出荷すればするほど赤字になるという極めて厳しい状況におかれております。
- 3 このような状況を踏まえ、野菜需給協議会の構成会員は、それぞれの特色を活かし、野菜の需給の周知や新しいメニュー（蒸し野菜など）の工夫・優れた機能のPRなどにより、全国的に梅雨が明けつつあるこの時期、野菜を食べて暑さに負けない体作りを目ざし、野菜の消費拡大活動を更に強力に推進することとします。